

地域連携 だより

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

あけましておめでとうございます

ウィズコロナの時代に向けて

病院長 金子隆昭



新年あけましておめでとうございます。
 去年は、国内の新型コロナウイルス感染症拡大にともない、当院も感染症医療に大きく舵取りを行いました。

ともに地域医療を守る医療機関の皆様方には、発熱患者様の一時診療や地域PCR検査体制の構築など、当院の感染症医療体制確保のために格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

また、これまで培われてまいりました地域医療の役割分担機能をさらに発揮し、当院を力強く支えていただきますとともに、一般医療におきましても、数多くのご紹介をいただきましたことに改めて深く感謝申し上げます。

当院では皆様の期待に応えるべく、昨年腫瘍内科を独立させ、地域のがん治療のニーズに応える体制を整えました。また、導入いたしました血管内撮影装置アズリオンを使っての新しい血管内治療が始まります。

コロナとともに生きていくことが求められるウィズコロナの時代に向け、感染症対策は必須ですが、地域医療を絶やすことなく信頼に応えてまいりますので、本年もどうぞよろしく願いいたします。



血管内治療お任せあれ！！

12月より千原英夫部長が脳神経外科に就任しました

1

2021

◆ 千原医師にインタビュー

脳神経外科の中でも専門分野は？

千原 医師 この度、新しく脳神経外科に部長として赴任した『千原英夫』と申します。脳神経外科全般を得意としておりますが、中でも脳血管障害、特に血管治療の経験・知識・技量はexpertと呼んでいただくと自負しております。私の強みは開頭手術も血管内治療も得意としているため、純粋に患者さんの病気や全身状態に応じた偏りのない治療方針が選択できることです。



当院での抱負は？

まだ、39歳と若輩者でありますので体力やフットワークには自信があります。助けを求める患者さまがおられましたらいつでも対応できます。この医療圏において都市圏に見劣りしない、**脳主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法**など、脳卒中超急性期医療体制を広めたいと思っています。また脳動脈瘤に対する血管内治療は新しい治療機器により選択の幅が広がり、より低侵襲な治療が行えるようになりました。また私はこの**脳動脈瘤に対するフローダイバーター留置術の実施医**ですのでご相談いただきましたら治療について検討させていただきます。

私事ではございますが、私は『城めぐり』が好きでして、名城100選にも選ばれている彦根城の近くで働けることを幸せに思っております。このような恵まれた環境の中で、地域の先生や住民の皆様のお役に立てるように精一杯勤めさせていただきます。よろしくお願ひします。

この地域での脳神経外科や救急体制に対する 院長・地域連携センター長の期待は？



金子 院長

当院は、地域における急性期医療の役割を担っています。

周辺病院は急性期もありますが、地域包括ケア病棟や回復期リハビリ病棟など療養型が中心となっているため、この地域で当院から急性期をはずすことはできません。現在、冬場ということや、コロナの専用病床確保のため一般の急性期病床が満床に近い状態になっていますが、それでも救急を断らないという方針で受け入れています。当院は脳神経系の救急搬送も多いので、脳神経外科の先生方にも負担をかけています。医師の働き方改革についても、世の中の流れにのりながら、またしっかりと救急対応もできるような体制を目指しています。

北川 地域連携センター長

地域医療構想会議

では、当院は急性期医療を担う病院としての役割を担っています。当院の脳神経外科の充実は、連携する医療機関や地域住民の皆さんから非常に喜ばれ、安心していただけることであると思います。先生のような実績のある方が、当院に来ていただけることは病院の大きな強みとなります。



フローダイバーターーステント治療について

◆ 大型未破裂脳動脈瘤に対する血管内最新治療！

脳動脈瘤に対する代表的な治療は、開頭術によるクリッピング術やカテーテル治療によるコイル塞栓術があります。しかしながら、通常の治療では難易度が高く、手術時の侵襲や合併症発生の可能性が高くなる脳動脈瘤があります。そのような脳動脈瘤に対して画期的な治療法としてフローダイバーターが注目されています。これは極めて細かい金属メッシュチューブ（ステント）を脳動脈瘤が存在する血管に留置することで血流が動脈瘤内に入りづらくなり、動脈瘤が血栓化し、縮小・治癒するという治療法です。治療手技には、血管内治療の技量が必要とされ、現在フローダイバーターを使用できる施設は限られています。

◆ 適応

・外科的手術やコイル塞栓術での治療が困難な、最大瘤径5mm以上かつワイドネック型脳動脈瘤（破裂急性期は除く）と定義されています。

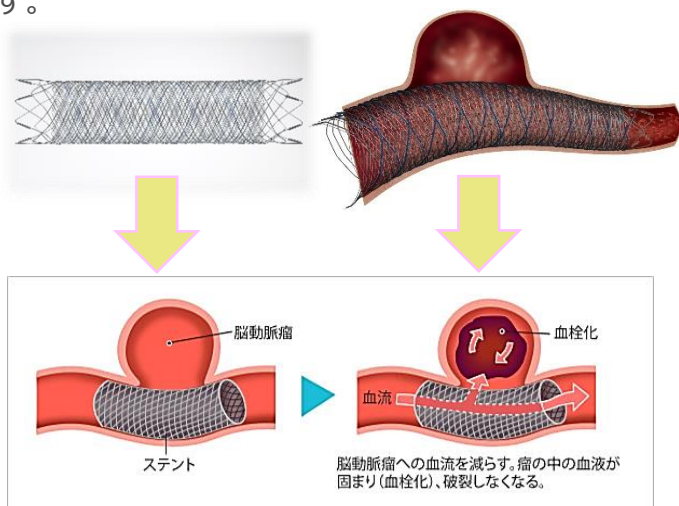
◆ メリット・デメリット

1) メリット

従来のコイル塞栓術では再発率が高く、完全な治療が困難であった大型動脈瘤や血管構造上の血流負荷で再発を繰り返すような動脈瘤に対して、開頭術のような重度の侵襲を加えることなく低侵襲に有効な治療が行える点です。また、コイル塞栓を行わないケースでは、動脈瘤内にワイヤーやカテーテルを挿入しないため術中破裂のリスクが低くなります。

2) デメリット

この治療では手術直後から動脈瘤内が閉塞しているわけではなく、徐々に血栓ができて動脈瘤の中に血流が入らなくなります。そのため、血栓閉塞が完成するまでは破裂の可能性が残ります。また、術後1年で治癒率は80~90%とされており、すべての症例で一度で治療が完了するわけではありません。



フローダイバーター治療は、脳動脈瘤の患者さんすべてに実施できる治療法ではありませんが、適応のある患者さんがおられたら、ぜひお役に立ちたいと考えています。脳の手術にはリスクがともないますので、この治療法のベネフィット（利益）とリスクを十分に検討し、患者さんやご家族に理解し納得していただいたうえで治療することを心がけています



12月をもって退職となった医師

脳神経外科：井坂 文章

大変お世話になり
ありがとうございました

New Face! 新任医師紹介

このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしくお願いたします。



脳神経外科
千原 英夫

- ◆大学卒業年 : 2006年
- ◆専門分野 : 脳神経外科全般 脳卒中 脳血管障害
- ◆所属学会 : 日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会技術認定医
日本脳卒中学会専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医
- ◆認定医・専門医資格 : 日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会
日本脳卒中の外科学会
日本脳神経血管内治療学会
日本脳神経外傷学会 日本脊髄外科学会
日本神経内視鏡学会 日本脳神経外科コングレス
- ◆抱負 : 患者さんご家族に寄り添った医療を行います
- ◆自己PR : 皆と仲良くなるのが得意です
- ◆趣味 : 城めぐり壺
- ◆座右の銘 : 仁は人の心なり、義は人の路なり



脳神経外科
秋山 亮

- ◆大学卒業年 : 2014年
- ◆専門分野 : 脳神経外科
- ◆所属学会 : 脳神経外科学会 脳血管内治療学会
- ◆抱負 : 新しい脳神経外科を盛り上げていけたらと思います
- ◆自己PR : 一生懸命頑張ります
- ◆趣味 : サッカー🏈
- ◆座右の銘 : 継続は力なり



脳神経外科
鳥牧 伸哉

- ◆大学卒業年 : 2018年
- ◆専門分野 : 脳神経外科
- ◆所属学会 : 脳神経外科学会 脳血管内治療学会
- ◆抱負 : 少しでも戦力となれるよう精進いたします
- ◆自己PR : 若いため比較的体力はあります
- ◆趣味 : 映画鑑賞🎬 釣り🎣
- ◆座右の銘 : 人間万事塞翁が馬